

組合員や子ども同士が平和の大切さを学ぶ機会 「ヒロシマ平和の旅」「ナガサキ平和の旅」に43名が参加

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、平和の大切さを学ぶ機会として「ヒロシマ平和の旅」を8月4日～6日に、「ナガサキ平和の旅」を8月7日～9日に実施します。

「ヒロシマ平和の旅」「ナガサキ平和の旅」は、核兵器や戦争の悲惨な事実を組合員同士で考え、次世代に伝えていくために、1970年代から毎年、全国の主な生協が参加者を募り、原爆の日に合わせて実施しています。今年にはコープみらいからは、広島に28名、長崎に15名の計43名（うち、小・中学生14名）が参加します。

今年の「ヒロシマ平和の旅」では、平和記念公園などの主要な遺構や慰霊碑などを見学する「碑めぐり」や、子ども同士で平和を考える「子ども平和会議」への参加などのほか、8月6日の平和記念式典に出席します。

「ナガサキ平和の旅」では、平和公園周辺の主要な遺構や慰霊碑などを巡る企画や、当時13歳だった被爆者の方に証言をお聞きするほか、8月9日の平和祈念式典に出席します。

また、平和に関するステージなどに全国の生協の参加者が集う、「虹のひろば」（ヒロシマ・ナガサキそれぞれで開催）に参加します。



原爆の子の像(2014年度ヒロシマ平和の旅)

2015年は被爆・戦後70年を迎える節目の年にあたり、今年の平和の旅には「子どもと一緒に戦争や平和について考えたい」という思いで応募された方が多数いらっしゃいました。

参加者は、出発の前に旅の目的の理解を深める「事前交流会」に参加し、平和の旅から戻った後の8月29日に開催する「体験交流会」（於：プラザ秋葉原）に再び集まり、平和の旅で学んだことを共有します。

コープみらいでは、飢餓や戦争・紛争などがなく、だれもが安心してくらせる平和な社会づくりに貢献するために、組合員が平和について学んだり考えたりする機会を今後とも大切にしていきたいと思います。

《生活協同組合コープみらい 概要》

ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

- 【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5
- 【理 事 長】新井 ちとせ (あらい ちとせ)
- 【組 合 員 数】321 万人 (2015年7月20日現在)
- 【総 事 業 高】3,702 億円 (2014年度)
- 【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
- 【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>